

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌、扁平上皮癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Studies on Radiation Therapy for Carcinoma of the Skin	
	論文の日本語タイトル	皮膚癌の放射線治療成績に関する検討	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ11-10	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ IV ）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID	1987081960	
	雑誌名	日本医学放射線学会誌	
	雑誌 ID		
	巻	46	
	号	8	
	ページ	1048-56	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (1)	
	発行年月	1986 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		岡崎 篤	群馬大学
その他著者 1		高橋 育	同上
その他著者 2		伊藤 潤	同上
その他著者 3		池田 一	同上
その他著者 4		中村 勇司	同上
その他著者 5		竹内 美穂	同上
その他著者 6		新部 英男	同上
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	皮膚原発基底細胞癌および扁平上皮癌の放射線治療成績を検討する。	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	群馬大学	
	対象者	1970－1983年に治療した皮膚癌112例 基底細胞癌 16例 (15例が顔面原発) T1：8例、T2：5、T3：1、T4：2 扁平上皮癌 96例 (顔面：42例、陰茎：30、外陰：9、他) T1：22例、T2：31、T3：31、T4：12	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (1)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (14)	
	介入 (要因曝露)	基底細胞癌 放射線療法：8例、手術＋放射線療法：8例 扁平上皮癌 放射線療法：56例、手術＋放射線療法：40例 放射線療法 電子線照射(8～12MeV)またはコバルト、10MVX線 1回6～7Gy、週2回 (コバルト、X線では2Gy/回で50Gy) 基底細胞癌：5～6回、扁平上皮癌：7～8回	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	局所制御	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	2	生存率	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()

	主な結果	局所制御 基底細胞癌：81% 扁平上皮癌：61%（T1: 100%, T2: 58%, T3: 18%, T4: 0%） 手術後放射線療法施行(34 例)：全例制御 放射線療法後手術：50% 生存率：5 年生存率 73% リンパ節転移陰性例 86%、陽性例 34% 重篤な障害：2 例（眼瞼原発、開眼障害）
	結論	局所制御率は良好であり、有害事象も許容範囲内であった。
	備考	
レビュワーコメント	レビュワー氏名	鹿間 直人
	レビュワーコメント	後ろ向き研究ではあるが、日本から発表された貴重なデータ レベル I V